

1. 職名・氏名 教授・米田 誠

2. 学位 学位 医学博士、専門分野 脳神経内科学、授与機関 新潟大学、授与年月 1990.11

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 臨床病態学Ⅰ（1単位 毎年開講）看護学科1年生（2019年度）	
② 内容・ねらい 適切な看護を展開するために必要な疾患の病態を把握する能力を修得することを目的とし、各種の疾病に関する基礎的知識と臨床病態を講述。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義をするとともに、レポート、試験により習得度を評価。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 臨床病態学Ⅱ（1単位 毎年開講）看護学科1年生（2019年度）	
② 内容・ねらい 適切な看護を展開するために必要な疾患の病態を把握する能力を修得することを目的とし、種々の疾病に関する基礎的知識と臨床病態を講述。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義をするとともに、レポート、試験により習得度を評価。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 感染症学（2単位 毎年開講）看護学科2年生（2019年度）（福井大 教員と）	
② 内容・ねらい 感染症や関連する免疫異常症の本態を正確に把握し、それらの症候、治療、予防を習得することを目標とし、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、神経系、血液系などにおける感染症と関連する免疫異常症（膠原病、アレルギーなど）の症候、病態、治療について講述。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義をするとともに、レポート、試験により習得度を評価。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（4単位 毎年開講）看護学科4年生（2019年度）	
② 内容・ねらい 難病医療や遺伝医療におけるテーマを学生自らが選定し、研究計画を立て、文献検索、調査・分析を行い、論文を作成するという、一連の研究手法を学習させる。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 自主性を促し、また尊重する。自らが興味・関心を持ち、研究結果が卒後にも有用となるようサポートしている。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等（2019年度）（平井教授と） 環境保健学特論（2単位 毎年開講）大学院生	
② 内容・ねらい 環境と健康・疾病に関する問題について両者の関係について理解を深めるため、近年急速に変貌している様々な環境要因が正常範囲を逸脱した場合に発生する健康障害や疾病について臨床医学的な見地から講述・討論する。また、健康障害や疾病から環境要因について評価を加え、最新の科学的根拠に基づいた健康増進・疾病予防の可能性を探る。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義をするとともに、レポートにより習得度を評価。	
(2)非常勤講師担当科目	

① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 医の倫理:遺伝医療の倫理問題 福井大学医学部医学科3年生,4年生 (2019年度)
② 内容・ねらい 医療・医学研究において必須の倫理学に関して、特に遺伝医療に関するものを習得するため、遺伝子の特殊性や臨床ガイドラインなどを講述。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義を行った。
④ 本学における業務との関連性 福井大学で行われている医学・医療において必須の遺伝倫理学の教育を、本学における看護教育においても積極的に取り入れるよう連携をはかってゆく。
① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 加齢と老化 福井大学医学部医学科4年生 (2019年度)
② 内容・ねらい 加齢と老化に関する基礎的かつ最新の知識を得ることを目標とし、加齢の生理的過程を各種の老化仮説をもとに講述。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義を行った。
④ 本学における業務との関連性 福井大学で行われている加齢と老化に関する教育を、本学における看護教育においても積極的に取り入れるよう連携をはかってゆく。
① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 遺伝倫理 福井大学医学部看護学科大学院生 (2019年度)
② 内容・ねらい 遺伝倫理に関する基礎的かつ最新の知識を得ることを目標とし、臨床遺伝学の特徴と倫理上の問題点を最新の知見をもとに講述。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義を行った。
④ 本学における業務との関連性 福井大学で行われている遺伝倫理に関する教育を、本学における看護教育においても積極的に取り入れるよう連携をはかる。
① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 先端応用医学概論講義 難病医療 福井大学医学部医学科大学院生 (2019年度)
② 内容・ねらい 難病医療に関する基礎的かつ最新の知識を得ることを目標とし講述。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義を行った。
④ 本学における業務との関連性 福井大学で行われている難病医療に関する教育を、本学における看護教育においても積極的に取り入れるよう連携をはかってゆく。
① 当科目名 (単位数) 開講学校名 先端応用医学概論講義 ヒトゲノム 福井大学医学部医学科大学院生 (2019年度)
② 内容・ねらい 人のゲノム (遺伝子) に関する基礎的かつ最新の知識を得ることを目標とし講述。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド、配布資料を用いた講義を行った。
④ 本学における業務との関連性 福井大学で行われている人の遺伝子に関する教育を、本学における看護教育においても積極的に取り入れるよう連携をはかってゆく。

#### 4. 研究業績

##### (1)研究業績の公表

###### ① 論文

###### [英文原著]

1. Toru Kishitani, Akiko Matsunaga, Masamichi Ikawa, Kouji Hayashi, Osamu Yamamura, Tadanori Hamano, Osamu Watanabe, Keiko Tanaka, Yasunari Nakamoto, Makoto Yoneda. Limbic encephalitis associated with anti-NH<sub>2</sub>-terminal of  $\alpha$ -enolase antibodies: A clinical subtype of Hashimoto's encephalopathy. *Medicine* 2017. 96:10(e6181)
2. Hiroyuki Neishia, Masamichi Ikawa, Hidehiko Okazawac, Tetsuya Tsujikawa, Hidetaka Arishima, Ken-ichiro Kikuta, Makoto Yoneda. Precise evaluation of striatal oxidative stress corrected for severity of dopaminergic neuronal degeneration in patients with Parkinson's disease: A study with <sup>62</sup>Cu-ATSM PET and 123I-FP-CIT SPECT. *Eur Neurol* 2017.;78:161-168.
3. Daisuke Hirose, Kentaro Hirao, ,Yoshitsugu Kaneko, Raita Fukasawa, Tomohiko Sato, Soichiro Shimizu, Hidekazu Kanetaka, Takahiko Umahara, Hirofumi Sakurai, Makoto Yoneda, Haruo Hanyu. Case of Hashimoto's encephalopathy showing atypical clinical course with magnetic resonance imaging abnormalities. *Geriatr & Gerontol Int* 2017.
4. Yuichi Hayashia, Megumi Yamada, Akio Kimura, Takahiko Asano, Katsuya Satoh, Tetsuyuki Kitamoto, Maokoto Yoneda, Takashi Inuzuka. Clinical findings of a probable case of MM2-cortical-type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease with anti-N-terminal of  $\alpha$ -enolase antibodies. *Prion* 2017 Nov 2;11(6):454-464.
5. Ikawa M, Kimura H, Kitazaki Y, Sugimoto K, Matsunaga A, Hayashi K, Yamamura O, Tsujikawa T, Hamano T, Yoneda M, Okazawa H, Nakamoto Y. Arterial spin labeling MRimaging for the clinical detection of cerebellar hypoperfusion in patients with spinocerebellar degeneration. *J Neurol Sci*. 2018 Nov 15;394:58-62.
6. Uwatoko H, Yabe I, Sato S, Abe M, Shirai S, Takahashi I, Matsushima M, Kano T, Yamaguchi S, Hatanaka KC, Yoneda M, Sasaki H. Hashimoto's encephalopathy mimicking a brain tumor and its pathological findings: A case report. *J Neurol Sci*. 2018 Nov 15;394:141-143.
7. Koga Y, Povalko N, Inoue E, Nakamura H, Ishii A, Suzuki Y, Yoneda M, Kanda F, Kubota M, Okada H, Fujii K. Therapeutic regimen of L-arginine for MELAS: 9-year, prospective, multicenter, clinical research. *J Neurol*. 2018 Sep 29.
8. Nagano M, Kobayashi K, Yamada-Otani M, Kuzuya A, Matsumoto R, Oita J, Yoneda M, Ikeda A, Takahashi R. Hashimoto's encephalopathy presenting smoldering limbic encephalitis: A case report. *Int Med* 2019;58(8):1167-1172.
9. Nishijima K, Hirai T, Yoneda M. Biology of the vernix caseosa: A review. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. J Obset Gynaecol Res.in press 2019.
10. Katsuki Tsuchiyama, Yoshitaka Aoki, Hideaki Ito, Makoto Yoneda, Osamu Yokoyama. Neurogenic bladder associated with xeroderma pigmentosum type A: A case report and literature review. *Urology Case Reports*. ePub 2019.
11. Akiko Matsunaga, Masamichi Ikawa, Makoto Yoneda. Hashimoto encephalopathy (invited review article). *Clin Exp Neuroimmunol* 2019 (in press)
12. Matsunaga A, Ikawa M, Kawamura Y, Kishitani T, Yamamura O, Hamano T, Kimura H, Nakamoto Y, Yoneda M. Serial brain MRI changes related to autoimmune pathophysiology in Hashimoto encephalopathy with anti-NAE antibodies: A case-series study. *J Neurol Sci*. 2019 Nov 15;406:116453. Epub 2019 Sep 7.

###### [和文総説]

1. 井川正道, 米田誠. ミトコンドリア病の脳機能画像解析. *医学の歩み* 260, 67-72, 2017.
2. 米田誠, 松永晶子. 橋本脳症, 特集: 内科診療に潜む脳炎・脳症. *日本内科学会誌* 106, 1550-1554, 2017.
3. 井川正道, 米田誠. ミトコンドリア病, 特集: 内科診療に潜む脳炎・脳症. *日本内科学会誌* 106, 1584-1590, 2017.
4. 松永晶子, 米田誠. 甲状腺ホルモンと認知症・フレイル, *認知症の最新医療* 7, 136-140, 2017.
5. 米田誠. 橋本脳症と自己抗体. *Antibody Update* 2018. *Brain & Nerve*, 305-314, 2018.
6. 井川正道, 米田誠. ミトコンドリア脳筋症のメカニズム, *Medical Science Digest* 44. 559-562, 2018.

7. 米田誠. 非感染性脳炎・脳症. 特集「研修医が知っておきたい神経疾患の診断と治療」. レジデント 121, 49-55, 2018
8. 松永晶子, 米田誠. 橋本脳症, 免疫性神経疾患における自己免疫要因. 臨床免疫・アレルギー科 70, 612-617, 2018.
9. 井川正道, 米田誠. 酸化ストレスイメージング. Brain & Nerve71, 161-166, 2019.
10. 米田誠. 橋本脳症の診断と治療 (抗 N 末  $\alpha$ -enolase 抗体). 内分泌・糖尿病・代謝内科 48, 71-77, 2019.
11. 米田誠. 時には「右向け左」 炉辺閑話 2019. 日本医事新報社. 45, 2019.
12. 米田誠. 橋本脳症と認知症. Dementia Japan 33, 190-195, 2019.
13. 米田誠. 橋本脳症, 精神科治療学, 第 34 巻増刊号, 277-279, 2019.
14. 井川正道, 米田誠. 神経変性疾患の PET 酸化ストレスイメージング. ミトコンドリアと疾患. 実験医学. 31 巻 12 号, 188-194, 2019.

## ②著書

[英文]

1. Masamichi Ikawa, Akiko Matsunaga, Makoto Yoneda. Hashimoto's encephalopathy as a treatable dementia . In Case Study in Dementia volume 2 (in press).

[和文]

1. 井川正道, 岡沢秀彦, 米田誠. 酸化ストレスイメージング. Annual Review 神経 2017, p87-93, 2017.
2. 松永晶子, 米田誠. トキソプラズマ脳症はどのように診断し, 治療するのでしょうか? 「神経内科 clinical questions and pearls」, 中外医学社, 東京, 2017 , 306-311.
3. 米田誠, 井川正道, 岡沢秀彦. 脳酸化ストレス PET イメージング. 76-78, 脳内環境辞典, メディカルビュー社, 大阪 2017.
4. 米田誠. 帯状回発作. てんかん用語集 (第 2 版). 日本てんかん学会編, 診断と治療社, 27-28, 2017.
5. 井川正道, 米田誠. 遺伝子, その他難病における診断・治療の現状と求める医薬品・医療機器・再生医療像. 第 7 節ミトコンドリア病. 「希少疾患用医薬品の適応拡大と事業性評価」. 株式会社技術情報協会発刊. p477-485, 2018 年 11 月.
6. 米田誠. 金属中毒 (鉛中毒, ヒ素中毒, マンガン中毒, 水銀中毒, カドミウム中毒, クロム中毒, ベリリウム中毒, 金属熱), 神経疾患部門/中毒性疾患. 内科学書 (改定第 9 版), 中山書店, 東京, p494-496, 2019.
7. 井川正道, 米田誠. ガス中毒 (一酸化炭素中毒, 硫化水素中毒, シアン化水素中毒, ホスゲン中毒, 二酸化窒素中毒, フッ化水素中毒, 二酸化硫黄中毒), 神経疾患部門/中毒性疾患. 内科学書 (改定第 9 版), 中山書店, 東京, p496-498, 2019.
8. 松永晶子, 米田誠. 有機溶剤中毒 (トリクロロエチレン中毒, n-ヘキサン中毒, トルエン中毒, 二硫化炭素中毒, 四塩化炭素中毒, エチレングリコール中毒, アクリルアミド中毒), 神経疾患部門/中毒性疾患. 内科学書 (改定第 9 版), 中山書店, 東京, p498-503, 2019.
9. 米田誠. 農薬・駆虫剤中毒 (有機リン剤中毒, 有機塩素剤中毒, カーバメイト剤中毒, タリウム中毒, 有機フッ素剤中毒, パラコート中毒), 神経疾患部門/中毒性疾患. 内科学書 (改定第 9 版), 中山書店, 東京, p503-505, 2019.
10. 井川正道, 米田誠. 食中毒・咬傷 (ボツリヌス菌中毒, カンピロバクター感染症, フグ中毒, アオブダイ中毒, 麻痺性貝毒中毒), 神経疾患部門/中毒性疾患. 内科学書 (改定第 9 版), 中山書店, 東京, p505-506, 2019.
11. 藤田信也, 米田誠. 食中毒・咬傷 (キノコ中毒), 神経疾患部門/中毒性疾患. 内科学書 (改定第 9 版), 中山書店, 東京, p505-507, 2019.
12. 米田誠. 薬物中毒 (抗癌剤, キノホルム,  $\beta$  遮断薬, 脂質異常症治療薬, Ca 拮抗薬, 制吐薬, 麻薬・覚醒剤), 神経疾患部門/中毒性疾患. 内科学書 (改定第 9 版), 中山書店, 東京, p508-510, 2019.

13. 米田誠. Basedow 病, 甲状腺機能亢進症に伴う神経・筋障害, 全身性疾患に伴う神経・筋障害, 神経疾患. 新臨床内科学, 医学書院, 東京 (印刷中) 2019.
14. 米田誠. 橋本脳症, 神経・筋疾患. 今日の診断指針. 医学書院, 東京 (印刷中) 2019.
15. 井川正道, 米田誠. MERRF, 遺伝子医学 MOOK, 村山圭, 小坂仁, 三牧正和編集, メディカルデュウ社, 大阪 (印刷中) 2019.

③学会報告等

[国際学会]

招待講演・シンポジスト

1. Makoto Yoneda. Molecular Images Targeting Mitochondrial Diseases The International Symposium of Mitochondrial Diseases at Zhejiang University, Hangzhou, China, July 8, 2017
2. Makoto Yoneda. Oxidative stress imaging of neurodegenerative disorders using Cu-ATSM-PET, The 17<sup>th</sup> Conference of Peace through Mind/Brain Science, Hamamatsu, Japan, Feb 20-22, 2018.
3. Makoto Yoneda. A History of Mitochondrial Medicine – “Where do we come from? What are we? Where are we going?” – . ASMRM & J-mit 2019 Fukuoka, Japan, Oct 3 –Oct 5, 2019.

一般演題

1. Ikawa M, Okazawa H, Neishi H, Kitazaki Y, Tsujikawa T, Kikuta K, Nakamoto Y, Yoneda M. Dopaminergic neuronal oxidative stress is increased with disease severity in patients with Parkinson's disease: A study with PET and SPECT. 28th Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism and Function and 13th Conference on Quantification of Brain Function with PET, Berlin, Germany, Apr 5, 2017.
2. Ikawa M, Okazawa H, Neishi H, Tsujikawa T, Kikuta K, Nakamoto Y, Yoneda M. Dopaminergic neuronal oxidative stress is increased with disease progression in patients with Parkinson's disease: A study with PET and SPECT. AAN, Boston, USA, Apr22 -28, 2017.
3. Masamichi Ikawa, Hidehiko Okazawa, Tetsuya Tsujikawa, Yasunari Nakamoto, Makoto Yoneda. PET neuroimaging for oxidative stress based on mitochondrial dysfunction in neurodegenerative diseases. WCN2017, Sep 16-21, Kyoto, Japan.
4. Akiko Matsunaga, Toru Kishitani, Masamichi Ikawa, Kouji Hayashi, Osamu Yamamura, Tadanori Hamano, Osamu Watanabe, Keiko Tanaka, Yasunari Nakamoto, Makoto Yoneda. Autoimmune limbic encephalitis associated with anti-NAE antibodies as a clinical subtype of Hashimoto's encephalopathy. WCN2017, Sep 16-21, Kyoto, Japan.
5. Makoto Yoneda, Masamichi Ikawa, Tetsuya Tsujikawa, Hirohiko Kimura, Hidehiko Okazawa. Molecular brain imaging evaluates the pathophysiology of stroke-like episodes in MELAS. WCN2017, Sep 16-21, Kyoto, Japan.
6. Masamichi Ikawa<sup>1</sup>, Hirohiko Kimura, Yuki Kitazaki<sup>1</sup>, Akiko Matsunaga<sup>1</sup>, Kouji Hayashi<sup>1</sup>, Osamu Yamamura, Tadanori Hamano, Makoto Yoneda, Hidehiko Okazawa, Yasunari Nakamoto. Feasibility of Arterial Spin Labeling MR Imaging for Detecting Cerebellar Hypoperfusion in Patients with Spinocerebellar Degeneration. The 70<sup>th</sup> Annual meeting of American Academy of Neurology (AAN), Los Angeles, USA, Apr 21-27, 2018.
7. Makoto Yoneda, Akiko Matsunaga, Masamichi Ikawa, Yasunari Nakamoto, Hiroshi Mitoma. The clinical features and pathophysiology of ataxic form of Hashimoto's encephalopathy. The 70<sup>th</sup> Annual meeting of American Academy of Neurology (AAN), Los Angeles, USA, Apr 21-27, 2018.
8. Yasutoshi Koga, Natalya Povalko, Eisuke Inoue, Hidefumi Nakamura, Akiko Ishii, Yasuhiro Suzuki, Makoto Yoneda, Fumio Kanda, Masaya Kubota, Hisashi Okada, Katsunori Fujii. Therapeutic regimen of L-arginine for patients with MELAS: 9-year, perspective, multicentre, Clinical research intergrating the data from two 2-year clinical trials with 7-year follow-up. The 70<sup>th</sup> Annual meeting of American Academy of Neurology (AAN), Los Angeles, USA, Apr 21-27, 2018.
9. Masamichi Ikawa, Hidehiko Okazawa, Tetsuya Tsujikawa, Osamu Yamamura, Tadanori Hamano, Yasunari Nakamoto, and Makoto Yoneda. PET neuroimaging for oxidative stress based on mitochondrial dysfunction in patients with neurodegenerative diseases. The 15<sup>th</sup> ASMRM, Busan, Korea, Nov 7-8, 2018.
10. Masako Kinoshita, Naoko Uehara, Sayaka Mukai, Ai Demura, Tomoo Ogino, Makoto Yoneda. Steroid therapy in probable cerebellar-type Hashimoto's encephalopathy. The 71<sup>th</sup> Annual meeting of American Academy of Neurology (AAN), Philadelphia, PA, USA, May 04 - 11, 2019.

[国内学会（全国）]

招待講演・シンポジスト

1. 米田誠. オーバービュー ミトコンドリア病, 第 17 回日本ミトコンドリア学会年会. 京都, 平成 29 年 11 月 22 日-23 日.
2. 米田誠. 認知症と橋本脳症, シンポジウム「自己免疫性神経疾患と認知症」, 第 36 回 日本認知症学会学術集会, 平成 29 年 11 月 28 日, 金沢.
3. 米田誠. シンポジスト (英語) Limbic encephalitis with anti-NAE autoantibodies as a clinical subtype of Hashimoto's encephalopathy, Current topics in acute encephalitis update. 第 59 回日本神経学会総会, 札幌, 平成 30 年 5 月 23 日~26 日.
4. 米田誠. 教育講演. 指導医講習会「遺伝子医療と倫理」. 第 46 回北陸産科婦人科学会, 福井, 平成 30 年 6 月 17 日.
5. 米田誠. メディカルスタッフ・レクチャー. 内科疾患に伴う神経疾患 (内分泌代謝). 第 36 回日本神経治療学会学術集会, 東京, 平成 30 年 11 月 23 日~25 日.
6. 米田誠. 小脳失調型橋本脳症, シンポジウム「見逃したくない治療可能な小脳性運動失調症」. 令和元年 5 月 24 日, 第 60 回日本神経学会学術大会, 大阪.

一般演題

1. 井川正道, 岡沢秀彦, 辻川哲也, 清野智恵子, 前田浩幸, 川谷正男, 畑郁江, 木村浩彦, 米田誠. 分子イメージングによる MELAS 脳卒中様発作の病態解明. 第 62 回日本人類遺伝学会, 神戸, 平成 29 年 11 月 15-18 日.
2. 畑郁江, 湯浅光織, 重松陽介, 川谷正男, 玉村千代, 高橋仁, 井川正道, 米田誠, 新井田要, 長谷川有紀, 山口清次. ミトコンドリア三頭酵素欠損の保因者診断・出生前診断の経験. 第 62 回日本人類遺伝学会, 神戸, 平成 29 年 11 月 15-18 日.
3. 川谷正男, 畑郁江, 井川正道, 前田浩幸, 米田誠, 足立香織, 難波栄二. 筋緊張性ジストロフィーの出生前診断 福井県における現状と問題点. 第 62 回日本人類遺伝学会, 神戸, 平成 29 年 11 月 15 日-18 日.
4. 大田浩司, 伊藤朋子, 前田浩幸, 畑郁江, 井川正道, 米田誠. 遺伝性乳癌に対する遺伝カウンセリング適応症例数の検討. 第 62 回日本人類遺伝学会, 神戸, 平成 29 年 11 月 15-18 日.
5. 前田浩幸, 横井繁周, 片山寛次, 五井孝憲, 伊藤勅子, 大田浩司, 井川正道, 畑郁江, 米田誠. 家族性乳癌が疑われた患者・家族に対する BRCA1/2 遺伝子検査の検討. 第 62 回日本人類遺伝学会, 神戸, 平成 29 年 11 月 15-18 日.
6. 前田浩幸, 横井繁周, 伊藤朋子, 大田浩司, 川谷正男, 井川正道, 畑郁江, 五井孝憲, 米田誠. 癌ゲノム医療連携病院における 2 次的所見に対する臨床遺伝専門医の役割. 第 63 回日本人類遺伝学会, 横浜, 平成 30 年 11 月 15-18 日.
7. 伊藤朋子, 大田浩司, 前田浩幸, 井川正道, 畑郁江, 米田誠. 両側性乳癌における遺伝的背景および予後に関する検討. 第 63 回日本人類遺伝学会, 横浜, 平成 30 年 11 月 15-18 日.
8. 大田浩司, 伊藤朋子, 前田浩幸, 井川正道, 畑郁江, 米田誠. 同時性, 早期異時性, 遅発異時性乳癌の遺伝的背景. 第 63 回日本人類遺伝学会, 横浜, 平成 30 年 11 月 15-18 日.
9. 井川正道, 山口智久, 上野亜佐子, 山村修, 辻川哲也, 濱野忠則, 米田誠, 岡沢秀彦, 木村浩彦. パーキンソン病患者における線条体 DAT 集積に関連する脳血流変化: MRI-ASL による検討. 第 60 回日本神経学会学術大会, 大阪, 令和元年 5 月 22-25 日

④その他の公表実績

招待講演

1. 米田誠. 自己免疫性脳炎・脳症 -橋本脳症を中心に-. 第 23 回 Nagano Neurology Conference, 松本, 平成 29 年 2 月 4 日.
2. 米田誠. 橋本脳症の診断と治療. 神経治療セミナー, 浦安, 平成 30 年 2 月 16 日.
3. 米田誠. 酸化ストレスからみたパーキンソン病. パーキンソン病 up to date, 千葉, 平成 30 年 3 月 1 日.
4. 米田誠. 橋本脳症の診断と治療. 第 26 回広島内分泌代謝研究会, 広島, 平成 30 年 7 月 21 日.
5. 米田誠. 健康長寿と生活習慣. 福井県社会福祉協議会. 「いきいきセミナー」第 1 回公開ス

クーリング，福井，平成30年9月1日。

6. 米田誠．橋本脳症の診断と治療．第5回和歌山神経免疫疾患研究会，和歌山，平成30年11月15日．
7. 米田誠．橋本脳症の診断と治療．第11回福岡甲状腺・副甲状腺研究会，平成31年2月23日，福岡．
8. 米田誠．日常診療に潜む精神神経疾患：橋本脳症．第11回宮城県南神経内科勉強会，仙台，令和元年12月5日．
9. 米田誠．日常診療に潜む橋本脳症．第2回岩手県神経疾患勉強会，盛岡，令和元年12月6日．

## (2)学会活動等

### 学会でのコメンテーター、司会活動

1. 米田誠．シンポジウム座長．第17回日本ミトコンドリア学会年会，京都．平成29年11月．
2. 米田誠．シンポジウム座長．「自己免疫性神経疾患と認知症」，第36回日本認知症学会学術大会，金沢．平成29年12月．
3. 米田誠．シンポジウム座長．第59回日本神経学会総会，札幌．平成30年5月．
4. 米田誠．ワークショップ座長．第30回日本神経免疫学会，郡山．平成30年9月
5. 米田誠．一般演題座長．第23回日本神経感染症学会，東京．平成30年10月．
6. 米田誠．シンポジウム座長．第18回日本ミトコンドリア学会年会，久留米．平成30年12月．
7. 米田誠．特別講演座長．国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会．第9回学術集会公開講座，福井，令和元年7月．
8. 米田誠．ワークショップ座長．第31回神経免疫学会，幕張（千葉）．令和元年9月．
9. 米田誠．教育講演座長．第30回日本認知症学会，東京．令和元年11月．

### 学会での役職など

1. 日本神経学会（1983年入会，専門医，代議員）
2. 日本内科学会（1988年入会，認定医・総合内科専門医）
3. 日本人類遺伝学会（1989年入会，臨床遺伝専門医・指導医，評議員，福井大学研修責任者）
4. 日本神経免疫学会（1999年入会，評議員）
5. 日本神経治療学会（2001年入会，評議員）
6. 日本ミトコンドリア学会（2002年入会，副理事長・理事・評議員）
7. 日本神経感染症学会（2006年入会，評議員，広報委員）
8. 日本てんかん学会（2010年入会，評議員）

### 学会・分科会の開催運営

1. 米田誠．査読委員．第36回日本神経治療学会，大宮．平成29年11月．
2. 米田誠．査読委員．第62回日本人類遺伝学会，神戸．平成29年10月．
3. 米田誠．査読委員．WCN2017, Sep 16-21, Kyoto, Japan.
4. 米田誠．プログラム委員．第17回日本ミトコンドリア学会年会，京都．平成30年11月
5. 米田誠．学会学術委員．第59回日本神経学会総会，札幌．平成30年5月．
6. 米田誠．査読委員．第37回日本神経治療学会，東京．平成30年11月．
7. 米田誠．プログラム委員．第18回日本ミトコンドリア学会年会，久留米．平成30年12月．
8. Makoto Yoneda, Advisory Committee, The 15th ASMRM, Busan, Korea, Nov 7-8, 2018.
9. 米田誠．学会学術委員．第60回日本神経学会総会，大阪．令和元年5月．
10. 米田誠．査読委員．第38回日本神経治療学会，東京．令和元年11月．
11. 米田誠．プログラム委員．第31回神経免疫学会，幕張（千葉）．令和元年9月．
12. Makoto Yoneda, Advisory Committee, The 16th ASMRM, Fukuoka, Japan, Oct 3-5, 2019.

(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学客員教授（高エネルギー医学研究センター）（平成 24 年～）</li> <li>・日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医試験 面接官. 平成 30 年度.</li> <li>・日本神経学会 専門医試験作成委員. 平成 29, 30 年度.</li> </ul>
② その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
[文部科学省科学研究費] <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤 (C) 2016~2018 年度 「アルツハイマー病患者における PET 酸化ストレスイメージングによる病態解明」 研究分担者（研究代表者 福井大学 井川正道 494 万円）</li> </ul>
[厚生労働省科学研究費] <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省難治性疾患等政策研究事業 2017~2019 年度 「ミトコンドリア病に関する調査研究」（代表：国立精神神経センター研究所 後藤雄一部長） 研究分担者 24 万円（2019 年度）9</li> </ul>
[学外共同研究] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「抗 <math>\alpha</math> エノラーゼ (NAE) 抗体測定系の技術移管と評価」 2017~2019 年度</li> </ul>
[学内競合的資金] <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的課題研究推進支援. 2018~2019 年度（平井教授, 西島教授と） 「健康と長寿の探求のための一生を通してみた縦断的研究 –安全な出生、健全な発育・発達から健康長寿まで–」研究代表者 180 万円（2018 年度分） 研究代表者 68 万円（2017 年度）</li> <li>・個人研究推進支援（ステップアップ研究支援）. 2018 年度 「橋本脳症の発病・臨床像の規定因子の網羅的探究；自己抗体と遺伝子多型のオミクス解析」 研究代表者 68 万円（2018 年度）</li> </ul>
(5)特許出願
なし

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（平成 28-30 年度）</li> <li>・福井県高次脳機能障害支援普及事業委員（平成 26~令和元年度）</li> </ul>
② 国・地方公共団体等の調査受託等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省プリオン病調査 福井県担当専門医[国]（平成 29, 30 年度）</li> </ul>
③ （公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
④ （兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動 神経内科専門医が不足している地域における神経難病・認知症患者の診療による医療貢献(医療法人中村病院, 医療法人木村病院)
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県てんかん談話会（世話人）</li> <li>・福井県脳機能画像研究会（世話人）</li> <li>・北陸神経内科談話会（世話人）</li> <li>・中部老年期認知症研究会（世話人）</li> <li>・神経科学研究会（世話人）[全国]</li> <li>・ミトコンドリア機能研究会（世話人）[全国]</li> </ul>

(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講：
② 社会人・高校生向けの講座： 「丸岡高校進路探究講座科」平成 29 年 11 月 30 日，丸岡高校 武生高校講義「脳内酸化ストレスのPET分子イメージングの開発と神経難病・認知症患者への応用－酸素とミトコンドリアの話－」令和元年 11 月．
③ その他：「学部説明会」平成 29 年 9 月，丸岡高校
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 14 回福井県科学学術大賞受賞「脳内酸化ストレスのPET分子イメージングの開発と神経難病・認知症患者への応用」．（福井県）</li> <li>・テレビ出演 福井放送ワイド&amp;ニュース「いきいきセミナー第 1 回公開スクーリング - 健康長寿と生活習慣-」2018 年 9 月 1 日．</li> <li>・新聞記事「第 14 回福井県科学学術大賞受賞」2019 年 2 月 10 日（福井新聞、日刊県民福井）</li> <li>・FBC ラジオ「脳内酸化ストレスのPET分子イメージングの開発と神経難病・認知症患者への応用」2019 年 2 月 16 日．</li> <li>・テレビ出演 NHK ニュースザウルス「第 14 回福井県科学学術大賞受賞」2019 年 2 月 10 日．</li> </ul>

## 6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
看護福祉学部長・研究科長
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究審査会（学内）</li> <li>・部局長会議（学内）</li> <li>・教育研究委員会委員長（学内）</li> <li>・大学院委員会（学内）</li> <li>・人権擁護・倫理委員会委員長（学内）</li> <li>・遺伝子組み換え実験安全委員会 委員（学内）</li> <li>・人権擁護・倫理委員会 委員長（学内）</li> <li>・衛生部会 委員（学内）</li> <li>・利益相反審議委員会 委員（学内）</li> <li>・毒劇物管理委員（学内）</li> <li>・保健管理センター（学校医）</li> <li>・学生献血サークル「オープン・ザ・セサミ」顧問 （平成 29 年度日本赤十字社創立 140 周年に関わる社業功労者社長特別表彰，平成 30 年度献血推進協力団体等厚生労働大臣感謝状[県立大]，平成 30 年度赤十字善行青少年知事表彰）</li> </ul>
(3)学内行事への参加
学内講演「審査員の心理を意識した科研費申請書の書き方」平成 29 年 8 月 24 日
(4)その他、自発的活動など